

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・打合せ ・協 議	文書番号	1 7 5
		決裁期日	平成 2 4 年 5 月 3 0 日
名 称	第 1 回放課後子どもプラン事業運営協議会会議		
日 時	平成 2 4 年 5 月 2 8 日 (月) 1 6 時 0 0 分 ~ 1 6 時 5 5 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員：稲毛委員長、米澤副委員長、金谷、中村、山口、加藤、佐藤、安西、杉本、安井、井上、藤田 1 2 名 教育委員会：教育長、教育振興課長、鈴木主幹、林下主査、飯村		
内 容	<p>別紙のとおり。</p> <p>服部課長進行。教育長から、中村委員、加藤委員に委嘱状を交付。教育長挨拶後、稲毛委員長の進行により議事進行</p> <p>教育長挨拶</p> <p>日頃、各方面でご尽力いただき心からお礼申し上げます。少年期においては、各家庭で子どもを育むのがベストではあるが、共稼ぎやひとり親等、各家庭で様々な事情がある。各方面の委員の目をいただき事業を進めていきたい。各立場で意見いただきたい。</p> <p>委員等自己紹介</p> <p>各委員及び職員の自己紹介。</p> <p>報告事項・・・飯村主任より報告</p> <p>平成 2 3 年度実績報告の登録数、利用数の実績について、鈴木主幹より補足説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回 1 月でも上小の利用人数の検証をするよう意見があったが、3 年生以上の終業時間が 1 5 時 3 0 分で、2 0 ~ 3 0 分しかスクールを利用できないので、そのまま下校する児童が増えていると思われる。 <p>昨年より、保護者が仕事が休みの日には、家庭で子どもを見ていただくことを周知徹底している。</p> <p>スポーツ少年団も 1 年生より加入できる少年団が増え、放課後の時間とぶつかっているため利用が減っていると思われる。</p> <p>図書館、社教センターの来館者数も増えている。社教センターでは、2 年生以上の利用が増えており、放課後だけが安心安全の場所ではない。</p> <p>安井主幹より児童館の利用実態の資料提供と説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館については、前年度と東児童館については増減あまりない、西児童館については少し減少している。児童館は、ゲームの持ち込みを禁止しているので、ゲームをしたい子は児童館には来ない。 		

<p>内 容</p>	<p>本年4月より、平日の午前中については利用者が少ないため、児童館を閉館している。</p> <p>協議事項・・・飯村より説明</p> <p>(1)平成24年度登録状況の登録上況</p> <p>本年度登録児童は、5月7日現在クラブ・スクール合計で216人登録。内10名が特育支援者。</p> <p>(2)放課後子どもプラン事業指導員体制について</p> <p>平成24年度は、20名の指導員で実施、内2名(古屋、宮崎)が4月より新規採用となっている。また、平成24年度で4名の指導員(金澤、羽賀、白峰、岡本)定年により退職となる。</p> <p>6月から西小の体育館の改修工事が始まり、活動場所が中と外に分割されるため、平日の勤務体制を上小が1名減の7名で西小が1名増の6名で体育館の改修が終了する9月まで変更する。</p> <p>稲毛委員長より質疑・・・上小の勤務体制は、1名減らしても大丈夫なのか。</p> <p>鈴木主幹回答・・・昨年まで特育支援児童の関係で1名指導員を増員していた。本年については、療育手帳を持っている児童の登録がない。平成22年度までは、7名体制だったので、平成22年度までの体制にもどす。先般の指導員会議で指導員については確認済み。</p> <p>教育振興課長より指導員の定年について、来年度から働いてもらえる指導員について公募をするが、適任の方がいたら情報をいただきたい。</p> <p>発達支援センター地域支援活動</p> <p>月1回の定例巡回で本年度は松田保育士が担当。5/10(木)実施したが、木曜日の利用者が、習い事との関係で少ないため今後は他の曜日で訪問を検討。都度松田保育士と調整。</p> <p>特別支援にかかる学校との情報交換</p> <p>上小については、5/23(水)実施し、9名の児童について情報交換。西小・江幌小学校については都度情報共有できているため、現在予定はしていない。</p> <p>放課後子どもプラン推進事業研修会</p> <p>5/17(木)指導員会議の前段で救急講習(AEDの取り扱い方)開催。17名の指導員が参加。</p> <p>7月の研修については、まだ日程が決まっていないが参加予定であることを報告</p> <p>(3)放課後子どもプラン事業の周知について</p> <p>各学校の協力を得て放課後クラブ・スクールカレンダーを学校内で掲示周知頂いている。また、放課後子どもプラン事業について広報かみふらの7/10号で掲載予定で地域ボランティアについてもこちらに掲載予定である。</p> <p>また、本年度より上小で移動図書を実施し、読書環境を整えている。</p> <p>(4)と(5)を入れ替え(5)その他より協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ等による学年、学級閉鎖への対応について <p>昨年同様にスクールについては中止、クラブは学級、学年ごとの閉鎖に応じて中止とする。</p>
------------	---

内 容

・メール配信サービスへの任意登録状況について

本年5月7日現在で97件の登録がある。昨年はメール配信の実績なし。不審者等の情報配信での使用で、児童の体調不良等時の迎いの連絡は、電話連絡でメールでの配信は行っていない。

・学校支援地域本部事業との連携

町内のスポーツや文化団体の指導支援を依頼し「チャレンジタイム」で活動を実施。上小は、6/4にバスケ、6/13にティーボール、6/20にバドミントンを実施予定で、ボランティアに依頼済み。

金谷委員より、インフルエンザの学級・学年閉鎖時の連絡について、昨年は連絡を学校教育、放課後クラブ・スクール、児童館の3か所に入れていた。保護者への連絡も入れないといけないので、時間的に忙しい。との意見あり。

鈴木主幹より、教育委員会への連絡は、学校教育班を代表とし、社会教育班へ連絡あれば、学校教育班に確認するので、両方への連絡は、今年度から不要である旨の回答。

(4) 次回開催時期について

特段何かなければ、昨年同様に今年も年3回の開催を予定したい。時期については、9月、1月を予定している。また時間については、16時~でよろしいか。

次回は、9月開催とし時間については16時からで了承。

米澤副委員長の挨拶後、会議終了。

その他、各委員の意見

金谷委員：先般、特育支援児童に係る情報交換を行なった。一人一人の情報を整理するのは、大変なことだと思う。学校と放課後の様子が違うとの話もあり、指導員には、授業の様子を見ていただきたい。学校と放課後をオープンにしていきたい。

中村委員：子どもたちをいつも見ていただきありがたい。授業で教員が指導している時と指導員といる時の子ども達の姿が違う。ご苦労かけていると思う。何か手立てがあればと考えている。

山口委員：1～2年生の担任をしているが、放課後の無い日は、スクールバスで帰る児童は、2時台のバスに乗るので放課後に遊ぶ時間がない。家に帰ってから遊びに行くこともできないので、放課後のある日は、保護者迎え日とし、子ども達も楽しみにしている。授業を少し早めに終わらせて放課後に行くこともある。親も子も喜んでいる。

加藤委員：前任校では、年4回しか実施していなかったので、数の多さに面をくらっている。子どもたちは、皆喜んでいる。

佐藤委員：放課後での学習はどうなのか？選択肢を広げれば、子どもたちが自主的に学ぶようになる。各学校の参観日に学校を開放するので、積極的に子ども達の様子を見に行っていたきたい。

安西委員：東中、江幌にコーディネーターとして行っている。女性のコーディネーターもいるので、活動がバラエティーに富んできた。東中は、1～6年まで一緒に参加するが、江幌は高学年が遅れて参加する。準備体操もあるのでスタート時間等調整

し一緒に参加できると良いと思うが、学校の状況も確認したい。

杉本委員：土曜日等のクラブの開設時間が9時からとなっているが、9時だと既に働きに出ている保護者もいるのでは。開設時間を早められないか。

鈴木主幹回答・・・土曜日等の開設時間は、9時からとなっているが、開設準備のために8時から1名指導員を配置しているので、子供の受入は8時から対応できるようになっている。

安井委員：放課後だけでなくいろいろなところから発達支援センターの巡回訪問の回数を増やしてほしいとの要望がある。町としても職員をもっと配置し、子育て支援の整備を図りたい。

井上委員：定年の話も出ていたが、毎年1年生との年の差がひらき、体力的に大変になっていき定年まで働けるか不安。8人の指導員の意見や考え方も違い難しいと感じている。

藤田委員：西小は、スクールバスの子が多く、1年生から6年生まで参加しているが、同じスポーツをするのに低学年と高学年では力の差があり一緒にすると低学年が怖いと言って嫌がり、チームを低学年と高学年に分けると高学年の参加者が少ないのでスポーツができない。また、どう対処していいのかわからない子もいる。今後も、先生方のアドバイスをいただきながら見守っていきたい。